

敦賀市中池見湿地保全活用協議会
令和2年度第2回会議 議事要旨 (R3. 3. 23 開催)

1. 前回議事録（議事要旨）の確認

特段、意見は無かった。

2. 保全活用計画の実施状況について

[まとめ]

- 事務局から、既往の会議資料等により把握している各主体の取組み状況をまとめた資料を提示し、計画の進捗状況は各主体からの積み上げで把握していくことが望ましいが、何も無いところからは議論ができないので、議論の取り掛かりとして示すものであるという趣旨が説明された。
- 協議会后、事務局で各主体のこれまでの取組み状況、今後の取組み予定を記入するフォームを用意し、各主体に記入してもらうこと、次回以降それらを取りまとめた使用を用意し、保全活用計画の実施状況をふり返る話し合いを行うこととした。

3. 中池見湿地保全（ヤナギ類の除去）について

[まとめ]

- 事務局より、湿地内に定着する傾向がみられるヤナギ類について、湿生草原として保全することが予定されている場所であるので、除去が望ましいこと、その方法として「環状剥皮」により枯死させる方法が考えられること、その方法が池ヶ原湿原（勝山市）でハンノキで行われており、良好な成果を上げていること、中池見湿地でも古民家北側（奥堀切）で生育している幼木を対象に試行したいことが説明された。

[参加者の意見]

- ・ヤナギ類は、野鳥の止まり木になっていることがあるので、野鳥愛好者には配慮して行ったほうがよい。
- ・取組みの趣旨と内容は、一般来園者にも分かるように、掲出するなどしておいたほうがよい。
- ・当面の試行の部分は市からの委託業務として行うとしても、将来的には一般参加のあるイベントとして行うことができれば、中池見の認知度の向上や自然環境保全意識の啓発につながるもので、望ましい。
- ・試行に際しては、進行状況を写真等の方法で記録し、随時協議会で紹介すること。

4. 令和2年度活動報告・令和3年度活動計画（各主体）

[まとめ]

- あらかじめ事務局に資料を提出していたアトリエ・フィスク、福井県自然環境課、team Wildcat、（特非）中池見ねっと、敦賀市環境廃棄物対策課から、資料に基づいて発表が行われた。なお、資料提出があつたが欠席であつた日本野鳥の会福井県の分については、資料を事務局が代読する形で照会が行われた。
- 特に意見、質疑はなかつた。

5. その他

- 当日配付された新しい中池見パンフレットの案について配付の趣旨が説明され、意見があれば4月15日（木）正午までに事務局（敦賀市環境廃棄物対策課）に連絡することとなった。